

令和4年度
宮崎県立延岡病院
年報

宮崎県立延岡病院

まえがき

新たな波動を感じ取れる昨今の新型コロナウイルス感染症ではありますが、本年5月8日に感染症法上の取り扱いが、2類相当から5類に引き下げられて以降、社会経済活動の緩和策や、医療対応策の変革、空床確保料の削減など、コロナウイルス側にとっても、医療機関側にとっても、正とも負とも取れるような方向性が示されているような気がしてなりません。今しばし世の中の状況を注視していきたいと思えます。

先日、30年勤務の5名と20年勤務の10名の当院職員に対して、感謝の念を持って「永年勤続職員表彰式」を執りおこないました。そこで、30年前の平成5年（1993年）の当院でのイベントを思い起こしてみましたところ、現在の本館の第Ⅰ期工事がスタートし、5年の歳月を経てグランドオープンすることになりました。その後時を経て、救命救急センターや心臓脳血管センターが竣工することになり、言うなれば、「ハードの幕開け」とでも表することができる年ではなかったかと思っています。では、20年前の平成15年（2003年）はいかなる年であったのでしょうか。麻酔科騒動からの立ち直りを遂行すべく、第4代院長として小川道雄先生が颯爽と就任されました。病院機能評価取得を筆頭に様々な改革がおこなわれ、新たな宮崎県立延岡病院がスタートした年であったと言っても過言ではないと思っています。いわば、「ソフトの幕開け」と言うにふさわしい年でありました。そして今、ハードとソフトが融合して、新たな旅立ちの一步が踏み出されようとしている予感がします。

この「年報」は、最新の「病院概要」並びに導入から3年目を迎えることになったドクターカーの実績を盛り込んだ「医療実績」、そして各職員が知識の習得と技術の向上を目指して、研鑽を積んできた結果を学会発表や論文発表として形に表した「研究業績」の3部構成から成り立っています。当院の医療人達が実践してきた「理路整然とした科学」の1ページを垣間見て頂けたら幸いです。

医療とは、理路整然とした科学と、心溢れる情熱の融合である。

令和5年7月
第8代院長 寺尾公成

【歴代院長】

初代	船渡 護	昭和24年 1月	—	昭和59年12月	内科
2代	永田 高見	昭和59年12月	—	平成9年 3月	整形外科
3代	本田 正之	平成9年 4月	—	平成15年 3月	産婦人科
4代	小川 道雄	平成15年 4月	—	平成17年 3月	外科
5代	中原 荘	平成17年 4月	—	平成19年 3月	脳神経外科
6代	楠元 志都生	平成19年 7月	—	平成26年 3月	放射線科
7代	柳邊 安秀	平成26年 4月	—	平成31年 3月	小児科
8代	寺尾 公成	平成31年（令和元年）	4月	— 現在	産婦人科

理 念

患者さん本位の良質で安全な医療の提供

基本方針

1. 患者さんの権利を尊重し、理解と納得に基づく安全で信頼される医療を行い、患者さんの立場に立った医療の提供に努めます。
2. 高度で先進的な医療に取り組み、地域の中核病院として質の高い医療の提供に努めます。
3. 二次・三次救急医療に取り組み、公立病院として地域住民が安心できる医療の確保に努めます。
4. 地域の医療機関との連携と地域社会に密着した保健医療活動を進め、開かれた病院として地域の保健・医療の向上に努めます。
5. 医療従事者として常に知識・技術を高め、質の高い医療の提供に努めます。

宮崎県立延岡病院

患者憲章

県立延岡病院は、病院の理念に則り、医療の中心は患者さんのためであることを深く認識し、一人一人の患者さんに次のような権利と責務があることを宣言します。

1. 良質な医療を平等に受ける権利
社会的地位、人種、信条等を問わず、安全に配慮した良質な医療を平等に受ける権利があります。
2. 知る権利
病気、検査、治療、予後等について、理解しやすい言葉などで納得できるまで、十分な説明を受ける権利があります。
3. 自己決定権
医療を受ける際、十分な説明を受けた上で受けるかどうかを自分で決定する権利があります。
4. 尊厳性への権利
どのような時でも人格を尊重され、尊厳をもって医療を受けることができます。
5. プライバシー保護の権利
病院関係者が知り得た全ての個人情報について、保護を受ける権利があります。
6. 責務
 - (1) 以上の権利を守るため、医師及び医療従事者と力を合わせて医療に参加・協力する責任があります。
 - (2) 院内の秩序と快適な療養環境を守るため、院内の諸規則を遵守する責任があります。

目 次

第1章 病院概要

1. 病院事業の執行状況	1
2. 主な沿革	2
3. 現況	2
4. 病院組織機構図	3
5. 委員会等組織機構図	4
6. 職員数調	5

第2章 医療実績

1. 入院・外来患者数	6
2. 救急患者受入状況	7
3. ドクターカー運行状況	8
4. 手術件数	9
5. 周産期件数	10
6. 透析件数	10
7. 剖検件数・臨床検査件数	10
8. 放射線件数	11
9. 薬剤関係件数	12
10. リハビリテーション件数	13
11. 臨床工学関連件数	14
12. 患者食数	15
13. 患者支援センター関連件数	15

第3章 研究業績

1. 内科	16
2. 循環器内科	20
3. 小児科	24
4. 外科	25
5. 整形外科	28
6. 呼吸器外科	30
7. 心臓血管外科	31
8. 泌尿器科	32
9. 産婦人科・周産期科	33
10. リハビリテーション科	34
11. 放射線科	36
12. 歯科口腔外科	37
13. 麻酔科	38
14. 臨床検査科	39
15. 病理診断科	41
16. 栄養管理科	42
17. 臨床工学科	43
18. 救命救急科	45
19. 薬剤部	48
20. 看護部	49
21. 県立延岡病院学会	53
22. 県民健康講座	56
23. チーム医療セミナー	57

第1章 病院概要

1. 病院事業の執行状況

事業執行状況

当院は、県北地域における高度医療や救急医療を提供する中核病院として、また、地域完結型医療の提供を目指す地域医療支援病院として、さらには地域災害拠点病院として、その役割を果たすことが求められており、質の高い医療の提供とそれを支えるスタッフの確保・充実を図るとともに、住民が安心できる医療提供体制の整備等、地域の医療機関との連携強化等に努めているところである。

経営面においては、より高い収益を確保するため、重症患者を中心に受け入れられる急性期病院に認められる急性期一般入院料1（旧7：1入院基本料）や特定集中治療室管理料（ICU）等の施設基準を維持するとともに、診断群分類別包括評価制度（DPC制度）を導入した病院に与えられる医療機関別係数の上昇に取り組むほか、DPCデータ分析による効率的診療の追求や請求内容の改善等を図っている。一方、事業費については、後発医薬品（ジェネリック）の採用促進や診療材料の共同購入品への切り替えなど積極的な経費節減に取り組んでいる。

こうした中、令和4年度の病院事業収益は、新型コロナウイルス感染症の第7・8波の影響により一部の診療科を除き入院・外来の延患者数が減少したが、入院収益は、新型コロナウイルス感染症の入院患者が増加したこともあり128,435千円増加し、外来収益は、多発性骨髄腫や悪性リンパ腫等の高額な投薬を伴う診療に伴う収益が減少したこと等から138,162千円減少し、また、新型コロナウイルス患者等入院病床確保支援事業（いわゆる空床確保料）に伴う一般会計負担金が123,379千円減少したこと等により、総額では13,456,601千円となり、令和3年度に比べ157,014千円の減少となった。

病院事業費用は、職員増等に伴い給与費が177,605千円の増、薬品費等の材料費が35,483千円の増、経費が委託費や光熱水費の増等により193,637千円の増となるなど、総額では12,820,915千円となり、令和3年度に比べ414,802千円の増加となった。

この結果、令和4年度の損益は635,686千円の純利益となり、前年度と比較すると571,816千円の減となった。

ア. 患者の利用状況

患者数は、延入院患者数101,387人（1日平均278人）、延外来患者数99,903人（1日平均411人）で、前年度に比べ、入院については358人（1日平均1人）の減、外来については836人（1日平均3人）の減となった。

イ. 収支の状況

収支（損益）は、総収益13,456,600,653円、総費用12,820,914,691円となり、差引635,685,962円の当年度純利益を計上した。

ウ. 施設の整備状況

施設の整備については、リハビリテーションセンター改修工事やエレベータ改修工事等を行った。医療器械では、心臓超音波診断装置や経食道超音波診断装置等の更新を行った。

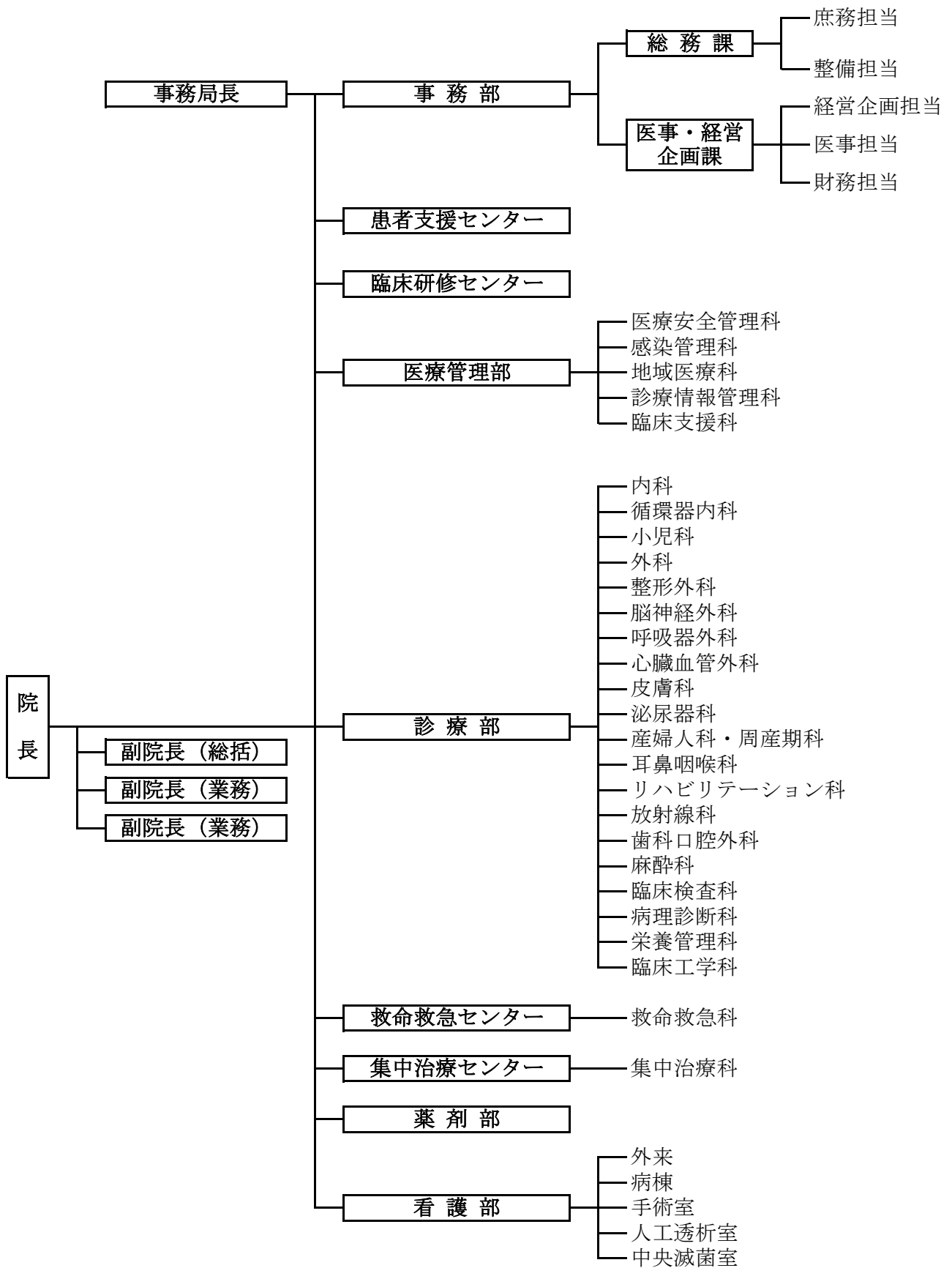
2. 主な沿革

昭和23年9月	延岡市浄満町にあった日本医療団延岡病院を買収して開院
昭和24年12月	済生会延岡病院及び旧延岡保健所の両施設を利用して現在地に移転、診療科2科（内科、外科）病床数42床（一般）
昭和25年2月	産婦人科を増設
5月	耳鼻咽喉科、眼科を増設
昭和31年6月	小児科、整形外科、皮膚泌尿器科、歯科を増設
昭和44年4月	脳神経外科を増設
昭和54年3月	許可病床数を460床（一般420床、伝染40床）に変更
平成9年11月	心臓血管外科、精神科を増設
平成10年4月	リハビリテーション科を増設 救命救急センターに指定された
平成10年7月	全面改築工事竣工
平成11年4月	心療内科を増設 感染症新法施行に伴い伝染病床40床を廃止し、病床数を460床（一般456床、感染4床）に変更
平成12年3月	全ての診療科で院外処方せんの発行を開始
平成14年5月	循環器科を増設
平成17年1月	財団法人日本医療機能評価機構から病院機能評価の認定を受けた
4月	救命救急科を設置
平成18年5月	電子カルテシステムが稼働
11月	地域医療支援病院の承認を受けた
12月	一般病棟7対1入院基本料を取得
平成20年1月	敷地内禁煙の開始
4月	DPC対象病院となり、DPC請求を開始 地域周産期母子医療センターに認定された
平成22年4月	臨床工学科及び病理診断科を設置
平成24年3月	病児等保育施設が完成（4月保育開始）
平成25年2月	新電子カルテシステムが稼働
3月	屋上ヘリポートを備えた救命救急センターが竣工
平成27年4月	入院支援センター及び感染管理科を設置
平成28年7月	診療科23科（呼吸器外科新設）となる
平成31年3月	心臓カテーテル室2室、ハイブリッド手術室1室（未整備）を備えた心臓脳血管センターが竣工 許可病床数を410床（一般406床、感染4床）に変更
令和2年4月	患者支援センター（医療連携、入退院支援、相談）を設置
令和3年4月	集中治療センター・集中治療科を設置 医療管理部に診療情報管理科及び臨床支援科を設置 ドクターカー（病院の高規格救急車）の運行開始
令和5年2月	リハビリテーションセンターの移設
令和5年4月	医療管理部に地域医療科を設置 臨床研修センターを設置

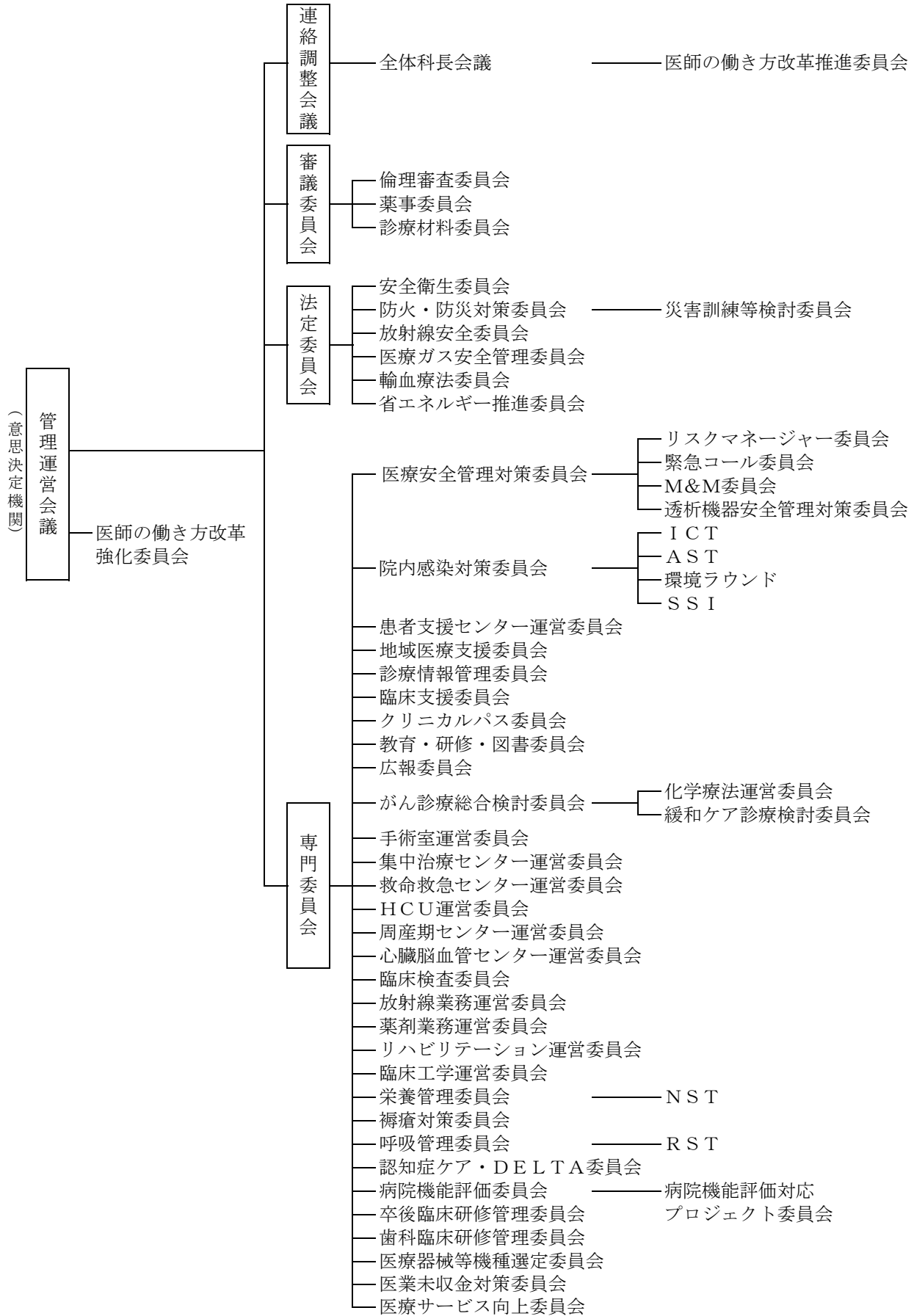
3. 現況（令和5年4月1日現在）

所在地	〒882-0835 宮崎県延岡市新小路2-1-10
開設年月日	昭和23年9月1日
病床数	一般406床 感染4床 合計410床
施設の規模	土地 …31,245.07 m ² 建物 …35,234.81 m ² 駐車場 … 外来用：348台 職員用：293台
標榜診療科	内科、心療内科、精神科、脳神経内科、循環器内科、小児科、外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、救命救急科、臨床検査科、病理診断科（計23診療科 心療内科、精神科、脳神経内科、眼科は休診中）
診療報酬	急性期一般入院基本料1 総合入院体制加算3 特定集中治療室管理料3（ICU） 新生児特定集中治療室管理料2（NICU） 医師事務作業補助体制加算2（20対1） 地域医療体制確保加算 等

4. 病院組織機構図 (令和5年5月1日現在)



5. 委員会等組織機構図 (令和5年5月1日現在)



6. 職員数調

区 分	令和5年度	令和4年度	令和3年度	増減数 (R5・R4比較)
医 師	66	59	61	7
歯 科 医 師	3	3	3	0
薬 剤 師	19	17	18	2
診 療 放 射 線 技 師	17	17	16	0
臨 床 検 査 技 師	21	21	21	0
管 理 栄 養 士	6	6	6	0
臨 床 工 学 技 士	13	11	10	2
理 学 療 法 士	10	9	9	1
作 業 療 法 士	5	4	4	1
言 語 聴 覚 士	3	3	3	0
看 護 師	391	385	375	6
精 神 保 健 福 祉 士	1	0	0	1
事 務 員	11	11	11	0
合 計	566	546	537	20
会 計 年 度 任 用 職 員	222	210	191	12
臨 床 研 修 医	25	24	24	1

※ 各年度5月1日時点（臨床研修医は年間の実人数）

第2章 医療実績

1. 入院・外来患者数

(単位：人)

区 分		入 院				外 来			
		令和4年度 (A) 365日	令和3年度 (B) 365日	対前年度比較		令和4年度 (a) 243日	令和3年度 (b) 242日	対前年度比較	
				増減数 (A-B)	増減率 (A/B)			増減数 (a-b)	増減率 (a/b)
内科	延数	30,147	30,512	-365	98.8%	20,747	21,337	-590	97.2%
	1日平均	82.6	83.6	-1.0	98.8%	85.4	88.2	-2.8	96.8%
心療内科 ・精神科	延数	0	0	0	-	123	159	-36	77.4%
	1日平均	0.0	0.0	0.0	-	0.5	0.7	-0.2	77.0%
脳神経 内科	延数	0	0	0	-	0	2	-2	0.0%
	1日平均	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0%
循環器 内科	延数	8,981	9,970	-989	90.1%	9,903	10,892	-989	90.9%
	1日平均	24.6	27.3	-2.7	90.1%	40.8	45.0	-4.3	90.5%
小児科	延数	1,612	1,508	104	106.9%	5,150	5,000	150	103.0%
	1日平均	4.4	4.1	0.3	106.9%	21.2	20.7	0.5	102.6%
外科	延数	10,098	8,737	1,361	115.6%	10,613	9,953	660	106.6%
	1日平均	27.7	23.9	3.7	115.6%	43.7	41.1	2.5	106.2%
呼吸器 外科	延数	3,344	2,807	537	119.1%	3,555	3,575	-20	99.4%
	1日平均	9.2	7.7	1.5	119.1%	14.6	14.8	-0.1	99.0%
整形外科	延数	17,508	16,605	903	105.4%	8,181	8,693	-512	94.1%
	1日平均	48.0	45.5	2.5	105.4%	33.7	35.9	-2.3	93.7%
脳神経 外科	延数	6,882	8,300	-1,418	82.9%	3,553	3,658	-105	97.1%
	1日平均	18.9	22.7	-3.9	82.9%	14.6	15.1	-0.5	96.7%
心臓血管 外科	延数	2,030	1,793	237	113.2%	1,738	1,871	-133	92.9%
	1日平均	5.6	4.9	0.6	113.2%	7.2	7.7	-0.6	92.5%
皮膚科	延数	312	0	312	-	5,352	4,060	1,292	131.8%
	1日平均	0.9	0.0	0.9	-	22.0	16.8	5.2	131.3%
泌尿器科	延数	2,906	2,379	527	122.2%	5,698	5,141	557	110.8%
	1日平均	8.0	6.5	1.4	122.2%	23.4	21.2	2.2	110.4%
産婦人科 ・周産期科	延数	11,096	12,109	-1,013	91.6%	7,072	6,867	205	103.0%
	1日平均	30.4	33.2	-2.8	91.6%	29.1	28.4	0.7	102.6%
眼科	延数	0	0	0	-	36	65	-29	55.4%
	1日平均	0.0	0.0	0.0	-	0.1	0.3	-0.1	55.2%
耳鼻咽喉科	延数	654	898	-244	72.8%	3,586	3,489	97	102.8%
	1日平均	1.8	2.5	-0.7	72.8%	14.8	14.4	0.3	102.4%
放射線科	延数	0	0	0	-	4,781	3,897	884	122.7%
	1日平均	0.0	0.0	0.0	-	19.7	16.1	3.6	122.2%
歯科 口腔外科	延数	2,348	2,132	216	110.1%	8,202	9,953	-1,751	82.4%
	1日平均	6.4	5.8	0.6	110.1%	33.8	41.1	-7.4	82.1%
麻酔科	延数	0	0	0	-	0	9	-9	0.0%
	1日平均	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0%
救命救急科	延数	3,469	3,995	-526	86.8%	1,613	2,118	-505	76.2%
	1日平均	9.5	10.9	-1.4	86.8%	6.6	8.8	-2.1	75.8%
計	延数	101,387	101,745	-358	99.6%	99,903	100,739	-836	99.2%
	1日平均	277.8	278.8	-1.0	99.6%	411.1	416.3	-5.2	98.8%

※ 各年度（4月1日～3月31日）の患者数を集計。

※ 一日平均患者数は小数点第2位を四捨五入。

2. 救急患者受入状況

(単位：件)

区 分				令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	対前年度比較	
						増減数 (A-B)	増減率 (A/B)
平日・ 時間内	へり	転 搬	入院	9	10	-1	90.0%
			外来	1	0	1	-
		直 搬	入院	23	20	3	115.0%
			外来	4	4	0	100.0%
		計	入院	32	30	2	106.7%
			外来	5	4	1	125.0%
	救急車	転 搬	入院	528	603	-75	87.6%
			外来	58	58	0	100.0%
		直 搬	入院	312	370	-58	84.3%
			外来	161	210	-49	76.7%
		計	入院	840	973	-133	86.3%
			外来	219	268	-49	81.7%
	そ の 他	入院	202	217	-15	93.1%	
		外来	95	81	14	117.3%	
合 計	入院	1,074	1,220	-146	88.0%		
	外来	319	353	-34	90.4%		
休日・ 夜間	初期救急 医療施設 より転送	へ り	入院	6	4	2	150.0%
			外来	0	1	-1	0.0%
		救 急 車	入院	532	495	37	107.5%
			外来	56	73	-17	76.7%
		そ の 他	入院	193	185	8	104.3%
			外来	102	130	-28	78.5%
	計	入院	731	684	47	106.9%	
		外来	158	204	-46	77.5%	
	紹介無し	へ り	入院	15	11	4	136.4%
			外来	6	6	0	100.0%
		救 急 車	入院	1,082	1,048	34	103.2%
			外来	663	799	-136	83.0%
		そ の 他	入院	528	526	2	100.4%
			外来	746	973	-227	76.7%
計		入院	1,625	1,585	40	102.5%	
		外来	1,415	1,778	-363	79.6%	
合 計	入院	2,356	2,269	87	103.8%		
	外来	1,573	1,982	-409	79.4%		
総 計		入院	3,430	3,489	-59	98.3%	
		外来	1,892	2,335	-443	81.0%	
		計	5,322	5,824	-502	91.4%	

※ 各年度（4月1日～3月31日）の救急患者数を集計。

※ 休日は土日祝日の8:30～翌8:29、夜間は平日の17:00～翌8:29、平日・時間内は平日の8:30～16:59として集計。

3. ドクターカー運行状況

(単位：件、人)

区 分		令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	対前年度比較		
				増減数 (A-B)	増減率 (A/B)	
要 請 元	延岡市 消防本部	出動件数	163	240	-77	67.9%
		重症患者人数	67	73	-6	91.8%
		ドッキングポイント 利用件数	35	30	5	116.7%
	日向市 消防本部	出動件数	29	29	0	100.0%
		重症患者人数	16	9	7	177.8%
		ドッキングポイント 利用件数	17	14	3	121.4%
	西臼杵 広域行政 事務組合 消防本部	出動件数	20	22	-2	90.9%
		重症患者人数	3	10	-7	30.0%
		ドッキングポイント 利用件数	9	8	1	112.5%
	美郷町	出動件数	7	7	0	100.0%
		重症患者人数	1	3	-2	33.3%
		ドッキングポイント 利用件数	4	2	2	200.0%
	諸塚村	出動件数	1	3	-2	33.3%
		重症患者人数	1	2	-1	50.0%
		ドッキングポイント 利用件数	1	3	-2	33.3%
	椎葉村	出動件数	1	0	1	-
		重症患者人数	1	0	1	-
		ドッキングポイント 利用件数	1	0	1	-
合計	出動件数	221	301	-80	73.4%	
	重症患者人数	89	97	-8	91.8%	
	ドッキングポイント 利用件数	67	57	10	117.5%	

※ 令和4年度は年度全体（4月1日～3月31日）の救急患者数を集計。
令和3年度は運行開始以降（4月19日～3月31日）の救急患者数を集計。

4. 手術件数

(単位：件)

区 分		令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	対前年度 増減率 (A/B)	区 分		令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	対前年度 増減率 (A/B)
内科	5,000点未満	79	77	102.6%	皮膚科	5,000点未満	97	37	262.2%
	5,000～19,999点	198	262	75.6%		5,000～19,999点	18	8	225.0%
	20,000点以上	9	17	52.9%		20,000点以上	1	0	-
	計	286	356	80.3%		計	116	45	257.8%
心療内科 ・精神科	5,000点未満	0	0	-	泌尿器科	5,000点未満	275	177	155.4%
	5,000～19,999点	0	0	-		5,000～19,999点	91	97	93.8%
	20,000点以上	0	0	-		20,000点以上	114	78	146.2%
	計	0	0	-		計	480	352	136.4%
脳神経 内科	5,000点未満	0	0	-	産婦人科 ・周産期科	5,000点未満	119	125	95.2%
	5,000～19,999点	0	0	-		5,000～19,999点	114	117	97.4%
	20,000点以上	0	0	-		20,000点以上	306	269	113.8%
	計	0	0	-		計	539	511	105.5%
循環器 内科	5,000点未満	175	169	103.6%	眼科	5,000点未満	0	0	-
	5,000～19,999点	149	159	93.7%		5,000～19,999点	0	0	-
	20,000点以上	411	447	91.9%		20,000点以上	0	0	-
	計	735	775	94.8%		計	0	0	-
小児科	5,000点未満	4	0	-	耳鼻咽喉科	5,000点未満	101	99	102.0%
	5,000～19,999点	0	4	0.0%		5,000～19,999点	8	4	200.0%
	20,000点以上	0	0	-		20,000点以上	4	20	20.0%
	計	4	4	100.0%		計	113	123	91.9%
外科	5,000点未満	83	79	105.1%	放射線科	5,000点未満	0	0	-
	5,000～19,999点	400	403	99.3%		5,000～19,999点	0	0	-
	20,000点以上	331	265	124.9%		20,000点以上	0	0	-
	計	814	747	109.0%		計	0	0	-
呼吸器 外科	5,000点未満	19	18	105.6%	歯科 口腔外科	5,000点未満	1,295	1,473	87.9%
	5,000～19,999点	23	11	209.1%		5,000～19,999点	22	29	75.9%
	20,000点以上	139	128	108.6%		20,000点以上	5	6	83.3%
	計	181	157	115.3%		計	1,322	1,508	87.7%
整形外科	5,000点未満	194	211	91.9%	救命救急科	5,000点未満	142	209	67.9%
	5,000～19,999点	531	539	98.5%		5,000～19,999点	14	15	93.3%
	20,000点以上	265	289	91.7%		20,000点以上	6	12	50.0%
	計	990	1,039	95.3%		計	162	236	68.6%
脳神経 外科	5,000点未満	48	50	96.0%	計	5,000点未満	2,664	2,745	97.0%
	5,000～19,999点	53	75	70.7%		5,000～19,999点	1,625	1,734	93.7%
	20,000点以上	67	105	63.8%		20,000点以上	1,773	1,767	100.3%
	計	168	230	73.0%		計	6,062	6,246	97.1%
心臓血管 外科	5,000点未満	33	21	157.1%					
	5,000～19,999点	4	11	36.4%					
	20,000点以上	115	131	87.8%					
	計	152	163	93.3%					

※ 各年度（4月1日～3月31日）の保険点数上、手術として取扱った件数を集計。

5. 周産期件数

(単位：人)

区 分	令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	対前年度比較	
			増減数 (A-B)	増減率 (A/B)
経膈分娩	132	155	-23	85.2%
帝王切開	128	117	11	109.4%
合計	260	272	-12	95.6%
周産期センター入院数	123	164	-41	75.0%

※ 各年度（4月1日～3月31日）で集計。

6. 透析件数

(単位：人、件)

区 分		令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	対前年度比較	
				増減数 (A-B)	増減率 (A/B)
人工透析 (透析台数：10台)	実患者数	176	163	13	108.0%
	延透析回数	1,472	1,431	41	102.9%

※ 各年度（4月1日～3月31日）の透析患者数、件数を集計

※ 透析台数は令和5年3月31日現在。

7. 剖検件数・臨床検査件数（委託・受託検査を除く）

(単位：件)

区 分		令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	対前年度比較	
				増減数 (A-B)	増減率 (A/B)
剖 検 件 数		11	13	-2	84.6%
臨 床 検 査	一 般 検 査	24,051	23,062	989	104.3%
	血 液 検 査	171,745	171,963	-218	99.9%
	微 生 物 検 査	22,113	21,397	716	103.3%
	輸 血 検 査	23,501	23,444	57	100.2%
	生 化 学 検 査	1,031,489	1,011,904	19,585	101.9%
	病 理 ・ 細 胞 診 検 査	13,835	14,516	-681	95.3%
	生 理 検 査	19,197	19,854	-657	96.7%
	コ ロ ナ に 関 す る 検 査 (P C R 検 査)	21,427	13,376	8,051	160.2%
合 計		1,327,369	1,299,529	27,840	102.1%

※ 各年度（4月1日～3月31日）の件数を集計。

8.放射線件数

(単位：人、件)

区 分			令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	対前年度比較	
					増減数 (A-B)	増減率 (A/B)
直接撮影	単純	延患者数	45,221	43,908	1,313	103.0%
		延件数	58,917	57,383	1,534	102.7%
	造影	延患者数	629	683	-54	92.1%
		延件数	2,711	2,868	-157	94.5%
特殊撮影	血管造影	延患者数	880	1,077	-197	81.7%
		延件数	20,143	24,171	-4,028	83.3%
	C T	延患者数	12,723	12,493	230	101.8%
		延件数	30,441	32,203	-1,762	94.5%
	R I	延患者数	678	769	-91	88.2%
		延件数	4,336	5,002	-666	86.7%
	MR I	延患者数	2,965	2,911	54	101.9%
		延件数	24,076	24,682	-606	97.5%
放射線治療	リニアック	延患者数	6,515	4,987	1,528	130.6%
		延件数	16,589	12,822	3,767	129.4%
	その他	延患者数	254	217	37	117.1%
		延件数	254	217	37	117.1%
その他		延患者数	5,667	5,544	123	102.2%
		延件数	5,667	5,544	123	102.2%
合計		延患者数	75,532	72,589	2,943	104.1%
		延件数	163,134	164,892	-1,758	98.9%

※ 各年度（4月1日～3月31日）の患者数、件数を集計。

※ 件数については、直接撮影は曝射回数を、特殊撮影は撮影方向数を計上。

※ その他については、骨塩定量、医用画像の提供等上記のいずれにも属さないものを計上した。

9. 薬剤関係件数

(単位：件)

区 分			令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	対前年度比較		
					増減数 (A-B)	増減率 (A/B)	
調 剤 件 数	調 内用	入 院	87,372	89,046	-1,674	98.1%	
		外 来	3,576	4,036	-460	88.6%	
		計	90,948	93,082	-2,134	97.7%	
	剤 外用	入 院	8,008	7,932	76	101.0%	
		外 来	506	621	-115	81.5%	
		計	8,514	8,553	-39	99.5%	
	件 頓服	入 院	10,016	9,986	30	100.3%	
		外 来	1,231	1,424	-193	86.4%	
		計	11,247	11,410	-163	98.6%	
	数 計	入 院	105,396	106,964	-1,568	98.5%	
		外 来	5,313	6,081	-768	87.4%	
		計	110,709	113,045	-2,336	97.9%	
数 処方せん枚数 (枚)	入 院	48,823	50,387	-1,564	96.9%		
	外 来	1,386	1,618	-232	85.7%		
	計	50,209	52,005	-1,796	96.5%		
院 外 処 方 せ ん 発 行 枚 数 (枚)			32,599	30,840	1,759	105.7%	
注 射 関 係	注射交付件数	入院注射せんによる交付 (枚)		70,563	69,834	729	101.0%
		外来注射せんによる交付 (枚)		21,002	20,379	623	103.1%
	無菌調製件数	経中心静脈栄養	調製件数	107	270	-163	39.6%
			調剤件数	187	323	-136	57.9%
		入院患者抗がん剤	調製件数	3,129	2,345	784	133.4%
			調剤件数	4,690	3,704	986	126.6%
	外来患者抗がん剤	調製件数	3,957	3,852	105	102.7%	
		調剤件数	5,944	5,683	261	104.6%	
	伝 票 に よ る 薬 剤 交 付 件 数			81,358	82,835	-1,477	98.2%
	製 剤 延 件 数			153	442	-289	34.6%
薬 物 血 中 濃 度 解 析 (T D M) 件 数			209	256	-47	81.6%	
服 薬 指 導	指 導 患 者 数		3,259	3,820	-561	85.3%	
	指 導 件 数		4,269	4,857	-588	87.9%	
	薬 剤 管 理 指 導 件 数		4,257	4,842	-585	87.9%	
	退 院 時 薬 剤 情 報 管 理 指 導 件 数		705	1,096	-391	64.3%	
	が ん 患 者 指 導 管 理 件 数		123	50	73	246.0%	
特 定 薬 剤 治 療 管 理 指 導 料 2 算 定 件 数			324	334	-10	97.0%	
持 参 薬 鑑 別 件 数			5,912	5,880	32	100.5%	

※ 各年度（4月1日～3月31日）の件数を集計。

10. リハビリテーション件数

(単位：件)

区 分			令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	対前年度比較	
					増減数 (A-B)	増減率 (A/B)
リ	運動器	理学療法	14,144	12,940	1,204	109.3%
		作業療法	3,074	3,250	-176	94.6%
		言語療法	0	0	0	-
ハ	脳血管疾患等	理学療法	4,350	5,997	-1,647	72.5%
		作業療法	3,974	5,392	-1,418	73.7%
		言語療法	3,955	4,779	-824	82.8%
ビ	呼吸器	理学療法	2,554	1,724	830	148.1%
		作業療法	953	410	543	232.4%
		言語療法	1,225	759	466	161.4%
リ	心大血管疾患	理学療法	4,648	5,945	-1,297	78.2%
		作業療法	1,787	2,117	-330	84.4%
		言語療法	0	0	0	-
テ	がん患者	理学療法	4,124	3,503	621	117.7%
		作業療法	3,117	2,180	937	143.0%
		言語療法	486	380	106	127.9%
ー	廃用症候群	理学療法	3,192	3,777	-585	84.5%
		作業療法	1,552	1,762	-210	88.1%
		言語療法	1,136	402	734	282.6%
シ	摂食機能療法	理学療法	0	0	0	-
		作業療法	0	0	0	-
		言語療法	170	1,961	-1,791	8.7%
ョ	初期加算	理学療法	16,756	18,504	-1,748	90.6%
		作業療法	6,531	7,744	-1,213	84.3%
		言語療法	4,025	3,705	320	108.6%
ン	早期加算	理学療法	25,487	26,611	-1,124	95.8%
		作業療法	9,860	11,128	-1,268	88.6%
		言語療法	5,813	5,258	555	110.6%
ン	総合評価	理学療法	1,745	1,897	-152	92.0%
		作業療法	642	582	60	110.3%
		言語療法	144	105	39	137.1%
医学管理	退院時指導	理学療法	947	938	9	101.0%
		作業療法	275	230	45	119.6%
		言語療法	14	20	-6	70.0%
合 計		理学療法	77,947	81,836	-3,889	95.2%
		作業療法	31,765	34,795	-3,030	91.3%
		言語療法	16,968	17,369	-401	97.7%

※ 各年度（4月1日～3月31日）の保険点数上、リハビリテーション料として取扱った件数を集計。

11. 臨床工学関連件数

(単位：件)

区分		令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	対前年度比較	
				増減数 (A-B)	増減率 (A/B)
保守 点検 部門	日常・返却時点検	9,131	7,304	1,827	125.0%
	定期点検	661	571	90	115.8%
	修理対応	784	705	79	111.2%
	呼吸器使用中点検	342	279	63	122.6%
手術 部門	人工心肺業務	28	32	-4	87.5%
	ステントグラフト内挿術	39	46	-7	84.8%
	脳神経外科手術支援(MEP/SEP)	8	10	-2	80.0%
	手術室内機器保守管理	55	50	5	110.0%
	機器日常点検	3,891	3,405	486	114.3%
	修理対応	65	48	17	135.4%
	ペースメーカーリード抜去	2	3	-1	66.7%
	内視鏡カメラ セッティング・記録支援 検査・治療補助	149	144	5	103.5%
心臓カ テー テル 部門	急患=280 PCI =357	883	769	114	114.8%
	画像診断装置操作	16	43	-27	37.2%
	補助循環業務(IABP)	32	40	-8	80.0%
	補助循環業務(PCPS)	12	14	-2	85.7%
	補助循環(インペラ)	11	1	10	1100.0%
	ペースメーカー植え込み	133	134	-1	99.3%
	アブレーション	45	73	-28	61.6%
血液 浄化 部門	透析室業務	1,405	1,431	-26	98.2%
	出張透析	67	48	19	139.6%
	BCM	0	32	-32	0.0%
	エンドトキシン測定 (水質チェック)	12	12	0	100.0%
	RO装置消毒	16	9	7	177.8%
	カブラ消毒	8	10	-2	80.0%
	透析装置機器管理保守	2	5	-3	40.0%
	日常点検	4,268	4,089	179	104.4%
	アフエレーシス業務	21	12	9	175.0%
	急性血液浄化業務(CHDF PMX)	41	24	17	170.8%
メー カ ー 関 連	外来定期検査	1,634	1,326	308	123.2%
	遠隔モニタリング	2,725	2,310	415	118.0%
	検査/手術等に伴う設定変更	207	206	1	100.5%
SAS 関連	SAS関連 (スクリーニング/簡易検査/PSG)	0	0	0	-
勉強会	勉強会	13	18	-5	72.2%
合計		26,706	23,203	3,503	115.1%

※ 各年度(4月1日～3月31日)で集計。

12. 患者食数

(単位：食)

区 分		令和4年度 (A) 365日	令和3年度 (B) 365日	対前年度比較		
				増減数 (A-B)	増減率 (A/B)	
常食	延給食数	65,842	69,906	-4,064	94.2%	
	1食平均	60.1	63.8	-3.7	94.2%	
軟食	延給食数	27,494	23,990	3,504	114.6%	
	1食平均	25.1	21.9	3.2	114.6%	
流動食	延給食数	31,590	33,797	-2,207	93.5%	
	1食平均	28.8	30.9	-2.0	93.5%	
特別食	加算あり	延給食数	80,448	77,650	2,798	103.6%
		1食平均	73.5	70.9	2.6	103.6%
	加算なし	延給食数	35,721	36,330	-609	98.3%
		1食平均	32.6	33.2	-0.6	98.3%
合計		延給食数	241,095	241,673	-578	99.8%
		1食平均	220.2	220.7	-0.5	99.8%

※ 各年度（4月1日～3月31日）で集計。

13. 患者支援センター関連件数

(単位：件)

区分		令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	対前年度比較	
				増減数 (A-B)	増減率 (A/B)
業務	相談件数	6,178	7,612	-1,434	81.2%
	外来診療 FAX予約件数	5,181	5,315	-134	97.5%
支援数	前方支援患者数	2,643	2,274	369	116.2%
	転院調整患者数	1,443	1,281	162	112.6%
加算	入院支援加算1算定件数	900	664	236	135.5%
	入退院支援加算1算定件数	4,127	3,564	563	115.8%
	介護連携指導料算定件数	437	334	103	130.8%
	退院時共同指導料算定件数	8	21	-13	38.1%

※ 各年度（4月1日～3月31日）で集計。

第3章 研究業績

内 科

学会発表

- 腸重積を来たし緊急手術に至った空腸 GIST の 1 例
平田智也、山本正次郎、内田圭祐、吉田直樹、堀口みなみ、畑田紘志、小川宗一郎、市成直樹、中村佳菜子、鈴木翔、坂口舞、安倍弘生、三池忠、大田勇輔、中村恵理子、盛口清香、田代耕盛、武野慎祐、七島篤志、河上洋
第 119 回日本消化器病学会九州支部例会 2022. 6. 24-25 佐賀市

- 当院における新規移植非適応多発性骨髄腫に対するダラツムマブの有効性
外山 孝典
第 47 回日本骨髄腫学会学術集会 2022. 5. 20-22

- チラブルチニブ導入後、一過性にリンパ球増加を認めた原発性マクログロブリン血症の 1 例
外山 孝典
第 337 回 日本内科学会九州地方会 2022. 5. 28

- 当院における P-BR 療法のまとめ
外山 孝典
第 62 回日本リンパ網内系学会学術集会 2022. 6. 23-25

- ロミデプシンが有効であった甲状腺原発末梢性 T 細胞性リンパ腫、詳細不明型 (PTCL-NOS)
外山 孝典
第 338 回 日本内科学会九州地方会 2022. 8. 27

- Venetoclax and azacytidine therapy to patients with AML in our hospital
外山 孝典
第 84 回日本血液学会学術集会 2022. 10. 14-16

- コロナワクチン接種後に急速に悪化した甲状腺原発悪性リンパ腫
外山 孝典
第 339 回 日本内科学会九州地方会 2022. 11. 27

- COVID-19 ワクチン接種後に急速に悪化したと思われる TAFRO 症候群
外山 孝典
第 13 回日本血液学会九州地方会 2023. 3. 11

講演会・研究会

- 潰瘍性大腸炎治療の実情について
平田智也（パネリスト）
大分×宮崎 IBD web セミナー 2022. 6. 17 （WEB 配信）

- 診断に苦慮した回腸炎の一例 臨床コメンテーター
平田智也
第 19 回 IBD Club Jr. Kyushu 2022. 7. 9

- 慢性リンパ性白血病 CLL に対する ibrutinib 療法の経験
外山 孝典
4 月 1 日 宮崎 CLL 治療セミナー2022

- 今、聞いてみたい初発多発性骨髄腫治療のリアル
外山 孝典
多発性骨髄腫よろず相談室 2022. 4. 26

- CLL 治療の変遷
外山 孝典
Abbivie CLL Web セミナー in Kyushu 2022. 6. 29

- 当院におけるダラツムマブ症例のまとめ
外山 孝典
第 16 回宮崎骨髄腫研究会 2022. 7. 9

- 当院におけるハイヤスタの使用経験
外山 孝典
北九州フォーラム 2022. 8. 23

- がん治療における腫瘍循環器学的マネージメント
外山 孝典
第 2 回県北腫瘍循環器講演会 2022. 8. 25

- PTCL におけるブレンツキシマブベドチンの位置づけ
外山 孝典
Hematology Web Seminar 2022. 9. 1

- 当院におけるサークリサの使用経験
外山 孝典
Multiple Myeloma Seminar in MIYAZAKI 2022. 9. 10

- 初発高齢者骨髄腫に対する当院の取り組み
外山 孝典
MM ハイブリッド 2022. 9. 13

- 当院における IsaKD 療法の経験
外山 孝典
Hematology フロンティア 2022. 9. 22

- 基礎の観点から考える Carfilzomib regimen の Position
外山 孝典
Hematology フロンティア 2022. 9. 22

- Detection of minimal residual disease in multiple myeloma
外山 孝典
Future vision of multiple myeloma 2022. 10. 17

- 当院における IsaKd 療法のまとめ
外山 孝典
九州 MM 治療カンファレンス 2022. 10. 22

- 末梢性 T 細胞リンパ腫の新しい治療
外山 孝典
宮崎血液研究会 2022. 10. 28

- CLL の治療戦略
外山 孝典
Hematology Web Seminar 2022. 11. 11

- ホジキンリンパ腫の治療戦略と化学療法後の IVIG
外山 孝典
小児造血器腫瘍の移行期治療を考える会 in 宮崎 2022. 11. 22

- 当院におけるハイスタ錠の使用経験
外山 孝典
宮崎県ハイスタ錠発売 1 周年記念講演会 2022. 11. 25

- Unfit AML の治療戦略 -Ven + AZA の使用経験を交えて-
外山 孝典
ベネクレクタ CLL・AML Web セミナー in 九州 2022.11.30

- 貧血診療のピットフォール, IMiDs を用いた治療: 百花繚乱の光景～腫瘍免疫の矛と盾～
外山 孝典
延岡医学会学術講演会 座長 2022.12.1

- 当院におけるベレキシブルの使用経験
外山 孝典
南九州 WM/LPL セミナー 2022.12.5

- 当院におけるロミプレートの使用経験
外山 孝典
宮崎血液学セミナー 2023.1.13

- 当院におけるハイヤスタの使用経験
外山 孝典
T cell lymphoma Web Seminar 2023.1.27

- Tirabrutinib 導入後に一過性リンパ球増加を認めた白血化原発性マクログロブリン血症
外山 孝典
臨床血液 短報 Vol.64, No.1, 2023

- PTCL および ATLL の新しい治療薬について
外山 孝典
Lymphoma seminar in Miyazaki 2023.2.10

- 当院におけるハイヤスタの使用経験
外山 孝典
Oncology Web セミナー in 九州 2023.3.3

- irAE としての血液障害
外山 孝典
第4回 irAE 研究会 2023.3.17

循環器内科

国際学会

- American Heart Association Scientific Sessions 2022, Nov 5-7, 2022, Chicago
Soichi Komaki, Tatsuya Tokai, Ryota Kaichi, Masafumi Takae, Takayuki Mori, Reiko Toida, Kazumasa Kurogi, Nobuyasu Yamamoto, Kenichi Tsujita, Toshihiro Tsuruda, Koichi Kaikita
Association Between Prehospital Nitroglycerin and Clinical Outcome in Acute Coronary Syndrome
- The 19th KSIC International Conference in Winter (2023/1/12-14, Seoul, Korea)
<KSIC- &9,7 -RQVHWIRQ \$GYDFHG&+,3 3&, 1HZ GMLFVDCGQZ technique>
Kurogi K.
CHIP PCI with Impella

国内学会・研究会・シンポジウム・講演会

- 第132回日本循環器学会九州地方会 2022/6/25, WEB開催
<Case Report Award 3>
東海 達也, 高潮 征爾, 花谷 信介, 辻田 賢一
DRd療法で加療した多発性骨髄腫由来の心病変を有するALアミロイドーシスの2例とその治療効果判定について
- 第34回日本心血管インターベンション治療学会 (CVIT) 九州沖縄地方会, 2022/8/19-20, 宮崎)
<PCI Live3 ミニレクチャー>
黒木 一公
「OCTガイド石灰化PCIへの心臓CTの活用法」
<ビデオライブ3>
黒木 一公
「IVUS guide Tip detection法で治療したLAD CTO」
<ランチョンセミナー>
黒木 一公
「TRIでSpeedy PCI！」
<シンポジウム; Stentless PCI>
黒木 一公
「DCAによるStentless PCI」

令和4年度 宮崎県立延岡病院年報

令和5年7月発刊

宮崎県立延岡病院

〒882-0835

宮崎県延岡市新小路2-1-10

TEL 0982-32-6181 FAX 0982-32-6759

URL <https://nobeoka-kenbyo.jp>
